

コロナ禍の今後を見つめた働きやすさ改革を

「ニューノーマルオフィス」のご提案

新しい生活様式を受けたこれからのオフィスのあり方を、
ナイキはいろいろな「場づくり」でサポートします。

With/Postコロナ時代の新しい生活様式や働き方を考えたとき、「場」としてのオフィスの見直しが必須となるでしょう。
そこでナイキでは長年の経験と実績を活かし、多様な「場づくり」を通してこれからの働きやすさ改革を応援していきます。

Withコロナ時代の働き方を見つめ、8つの行動を「場づくり」でサポート

Collaboration

多様な職種の協力により、新しい価値を生み出す「場」を創造

01



アイデア出し

新たな知識やプロセスを
構築できる「場」

02



情報処理

情報の進捗を
整理・分析・議論できる「場」

03



知識共有

プレゼンターを中心に
知識を共有できる「場」

reCharge

リフレッシュやブレイク、クールダウンができる「場」を創造

04



リフレッシュ

自席から離れて、チャージや心身
の切り替えができる「場」

Communication

ワーカー同士が偶発的に出会い、集まり、つながる「場」を創造

05



会 話

2人が近距離で
じっくり話し合いができる「場」

06



対 話

2人もしくは3人で
会話・議論ができる「場」

Concentration

個人で物事を行い、成果を生み出す「場」を創造

07



ゆるやかな集中

ワーカー同士が共有しながら
個人作業ができる「場」

08



高い集中

誰にも邪魔をされず
個人作業ができる「場」

※ Withコロナ対策例を挙げています。